

例会 NO. 389  
NO. 9-16 1998. 11. 18 発行  
(例会日: 1998. 11. 11)



1998~1999年度R1テーマ

ロータリーの夢を  
追いつけよう



# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1998~1999年度クラブ目標 “ 心と心のふれあい ” (HEART TO HEART)

司会 SAA委員会・委員 高橋 正晴  
◎点鐘 会長 杉田 誠  
◎ロータリーソング『奉仕の理想』  
ソングリーダー 菊池 敏  
◎お客様紹介 会長 杉田 誠  
岡山西南RC 椎原裕二様  
東京みなとRC 高田和雄様

◎会務報告 会長 杉田 誠  
去る11月9日調布ロータリークラブの35周年記念式典に、私・幹事・ガバナー補佐田中会員の3名で出席して参りました。

◎幹事報告 幹事 佐伯 和廣  
①会員名簿の一部訂正(田島会員、伊神会員の事業所の電話番号が変わります)を週報にのせます。確認して下さい。(携帯用)  
新番号 田島会員 042-339-4400(電話)  
伊神会員 03-3839-3420(ファックス)  
②多摩RC、恵比寿RCの週報を回します。  
③メールの中に入っております“ときめきのイブニングパーティー”の出席依頼がきております。  
日時 10年11月14日(土) 6時~8時30分  
ところ 京王プラザホテル多摩「白鳳の間」

◎青少年交換学生ホストファミリー委囑状伝達  
「北村 幸彦会員」 会長 杉田 誠  
扶養家族手当です。ゴルフなどに使わない様に……

## ◇委員会報告

◎出席報告(11月11日) 出席委員会 村上 久

| 会員総数  | 出席義務者   | 出席者    | 出席率    |
|-------|---------|--------|--------|
| 50名   | 50名     | 40名    | 80.00% |
| 11/4  | 訂正出席率   | 94.00% |        |
| 10/28 | 最終訂正出席率 | 84.31% |        |

## ◎欠席者

足立潤三郎、遠藤二郎、遠藤立一、萩生田茂夫  
伊神稔、中山恒武、小形勝子、宿院利幸、田畑博  
横倉舜三

## ◎補填メイクアップ

遠藤 立一 11月6日 ガバナー月信委員会  
高野 範城 11月10日 東京多摩RC  
伊神 稔 11月6日 東京武蔵府中RC

## ◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 津守 弘範

小坂 一郎 先週4日水曜日、我が愛妻、無事退院いたしました。皆々様に大変ご心配掛けました。  
伊藤 英也 太田支店長の卓話たのしみにしております。  
津守 弘範 太田さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。  
海野 栄一 椎原さん、お久しぶりですね……  
猪股 末男 今日平野先生にどうしても入れてくれと云われて……  
北村 幸彦 良い天気が続きますね。  
佐伯 和廣 太田さん、イニシエーションよろしく  
杉田 誠 太田様、イニシエーションスピーチがんばって下さい。

本日の合計 15,000円(累計 516,964円)



## ◎イニシエーションスピーチ 太田博史会員



みなさん今日は。当クラブにお世話になり半年が経ちました。その間みなさまにご親切にいただき大変ありがたく思っております。今後共よろしくお願ひいたします。本日は大先輩のみなさまを前にし、基本的には、自分の経験をお話しする場と伺っておりますが、私は平凡な人間ですから、みなさまに関心を持って聞いていただける様なものはありませんので、前半の時間で私の経歴を簡単にお話しし、あとは資料を用意しましたが最近の金融情勢についての参考になればと思われる所をお話ししてみたいと思います。

さっそくですが、私は現在43才。昭和30年岡山県玉野市に生まれ、高校までそこで暮しておりました。玉野市は岡山県では、岡山市、倉敷市、津市に継ぐ人口では4番目位の市なのですが、宇野—高松の連絡船の本州岸玄関口にあり、宇野港という港が私のふるさとです。

町はこの港と三井造船所であります。玉野造船所と二つもっている様な小さな町です。昭和49年オイルショック以降、造船業が大変不振をきわめる中で、町もだんだんさびれていった様に思います。また駄目押しになったのが瀬戸大橋の開通で、連絡船が廃止になり、人の流れががらっと変わりまして、以降わがふるさとさびれている様な気がします。

私は昭和49年広島大学政経学部に入學。以降ずっとふるさとを離れ、あちこち転々としていますが、大学の4年間はもっぱら吹奏楽をやっておりました。高校の時から吹奏楽部に入部しておりました。大学2年の時に指揮者をやらないかという事で抜擢され、以降棒振りに転じたわけです。当クラブにも菊池、吉沢両先生がいらっしゃるわけですが、何かありましたらいつでもお申付け下されば、お手伝いさせていただきます。

昭和49年は私にとって忘れられない年です。私は巨人軍の大ファンで、特に長島選手の大ファンでした。けれど、49年に尊敬する長島選手が巨人軍から退団、また、巨人軍の連破の夢が打砕かれたのもこの年だったと思います。私は当時広島におりましたが、広島市民球場に何

度も足を運び、目の前でもろくも崩れ去る姿を間のあたりにした49年でした。

野球に関しては以降、行く先々で特異現象が次々に起こりました。

昭和53年野村証券入社。最初に配属になったのが四国の徳島で、入社2年目に徳島県立池田高校が甲子園大会に優勝。(ちなみに私は阿波踊りもおどれます。ここでは披露いたしません)

昭和56年町田支店に転勤。その年、地元の桜美林学園が春の選抜大会に優勝。行く先々で地元の高校が優勝する——これもジンクスかなと思ひ、次の転勤先で決定的となりました。

昭和59年大阪支店営業部に転勤。野村営業部発祥の地なのですが、2年目阪神タイガースが10年数ぶりに優勝。

平成元年横浜戸塚支店の開設を命ぜられ転勤。ジンクスは終わったと思ったのですが、横浜在住10数年にして今年横浜ベイスターズ優勝という事になりました。

このあと、新宿の野村ビル支店・本社の営業企画付き、そして福島県の郡山支店を経て、今年の6月に多摩支店に参りました。地元の野球と云えば何と云っても多摩グリーンRC野球部の優勝という事しかないの、ジンクスからすれば来年あたり優勝の可能性は充分あると思ひますので、ご期待下さい。

43年間で5・6分であつという間に終わってしまいました。野村証券に入りましてからの2年間は私の人生にとりまして、非常に意義深い時間だったと思っております。

◎点鐘

会長 杉田 誠

11月11日(水)13:30より、例会のあと第一回クラブ協議会が開かれました。

司会 佐伯幹事

◎開会の辞

会長 杉田 誠

1 「ロータリーの夢委員会」提案について

会長 杉田 誠

2 クラブ組織・クラブ細則改訂について

クラブ組織・クラブ細則改訂諮問委員長

赤尾 恭雄

3 ガバナー補佐講評 ガバナー補佐 田中 實様

閉会の辞

会長 杉田 誠

活発な意見交換が行われ、有意義な1時間でした。



当社は昭和48年頃より、三鷹市内の埋蔵文化財発掘現場へベルトコンベア(土を運ぶ機械)などのをレンタルし始めました。昭和51年頃より、ここ多摩ニュータウンの開発に伴う埋蔵文化財発掘が大掛かりに行われるようになりました。東京都の依頼により当社も現在の(財)東京都埋蔵文化財センターの前身「多摩ニュータウン遺跡調査会」に機械を出すようになり以来20数年、多摩の開発のみならず都内及び地方の埋蔵文化財発掘に携わってきました。多摩ニュータウンの開発はほぼ終わりましたが、現在も都内・八王子・三重県や静岡県の現場にも出庫しております。当社と他のレンタル業者との違いは、遺跡への依存率が高いこととアフターサービスでしょう。当社はお客様の要望を聞きながら、機械のトラブルの時は敏速な対応をモットーとしております。小さい会社なので営業マンは置いていませんが、一度当社の機械をご使用なられた方はその後もお引き立て下さり、また口込みで新しいお仕事を頂く場合もあります。

この業界の悩みは、メーカーが新機種を出したり工法が変わって使用機械が変化し、そのために常に多額の借金を抱えていることです。当社もバブルの後の苦しい中、多額の借入金と約束手形を毎月やっとの思いで返済しております。全員で6人の小規模の会社だから何とかやっていたのだと思います。しかしバブルの後、役所の発注件数が減り、当社のユーザー同士で入札するようになり、大変心苦しい思いを感じております。多摩・稲城や八王子などの現場で仕事をされている同世代の所長クラスの方々が、時々立ち寄って下さり雑談をして行かれますが、バッテリーしないかと不安を覚えると共に、この不況の中リストラを心配されておられ、あと何年ご一緒にお仕事ができるのかと思いと複雑に気持ちになります。

この業界も「全国建設機械器具リース業協会」という組織があり、全国で28ブロックに分かれており1319者が会員として加入しておりますが、電話1本でブローカー的に商売出来るので未加入業者も同数はあると思われています。仕事量の減った現在、リース料金のダンピングがさらに激しくなり、機械の稼働率が低くなっているのになおかつ単価まで下がり過当競争の為売上げ減少傾向に歯止めがかからず、当社のみならず他社も資金繰りにも困っているのが現状です。今後は協会が中心となり合併・吸収が進み、我が社のように資金力のない業者は淘汰されるのではと、危惧しております。淘汰されないよう私もバブル後の先の見えないこの不況を、モットー第一にそして他社が持たない機械を稼働させ、どうにか乗り越えられるよう頑張っていきたいと思っております。



(今週の担当 田島真由美)